

湯梨浜中学校だより

三智創造

『礼輪笑活(れいわしょうかつ)』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和2年2月25日

【「社会人に学んだ」1年生】



先週の21日(金)、1年生が「社会人に学ぶ」の学習をしました。最初に講師の方々の紹介があり、その後に講話をしていただきました。そして、講話の後に質疑応答ということで生徒から色々な質問が出され、それぞれの講師の方々から体験談を含めてお話をいただきました。講師の方々は次のとおりでした。①「消防士」小林一弥さん ②「薬剤師」森本和子さん ③「看護師」石川明美さん ④「理容師」青木栄治さん ⑤「パティシエ」朝倉真一さん ⑥「警察官」宮田真輝さん・米山聡史さん ⑦「公務員」尾川伸弘さん ⑧「保育士」中原しのぶさん、以上の9名の講師さん方にお世話になりました。生徒たちの職業に対するオンボラとしたイメージが、はっきりと「現実の夢」に変わってきたと思います。ご多用の中、貴重なお話とお時間をいただき、ありがとうございました。

【「災害を知る・地域を知る・人を知る」2年生】

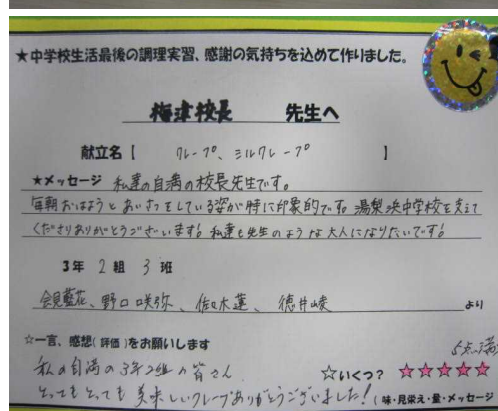


1年生が「社会人に学ぶ」学習をした同日に、2年生は防災について学びました。講師は湯梨浜町の総務課「防災特別対策官」の松下達夫さんをお願いをしました。4月の修学旅行で「人と防災未来センター」を訪れ、阪神・淡路大震災の復興の取り組みを学ぶ予定であり、事前の学習の一貫としての取り組みでした。この中部地区で数年前に起こった地震を忘れることなく、いつでも起こりうる自然災害を自分のこととしてとらえ、防災意識を高めることができました。『自助・共助』：自分自身を守り、ともに助け合うことの大切さも再認識できました。

【「美味しいクレープに感謝・感激！」3年生】

2月19日3・4限、3年2組が家庭科の授業で「クレープ」を作って校長室にも届けてくれました。クレープの生地がしっとりと仕上がって、クリームとパイナップル・チョコフレークがよくあって甘すぎず、とってもとっても美味しいクレープでした。一緒にメッセージまで付けていただき、「私たち自慢の校長先生です。毎朝おはようと挨拶している姿が特に印象的です。湯梨浜中を支えてくださってありがとうございます！・・・」と、私には有り余るもったいないお言葉の数々で、「教員みょうりにつくる」という言葉が頭に浮かび、心が温まり、ついホロリとしました。

「できて当たり前・当然のこと」と思われる教師としての仕事、職業人として働かせていただきながらもなかなか思うようにできないことばかりのこの一年間でした。開校したばかりで、昨年までと勝手が違い、物事がスムーズに進まなかったこともたくさんありました。なかなか褒めていただいたり感謝していただくことのない中、こうした「一言」がどれだけ大きく・重く・ありがたいことかを感じさせていただきました。生徒の皆さんや保護者の方々に礼をいうのは逆にこちらの方だと思います。「よくぞ、こんな状況でも我慢して頑張ってください」と感謝しています。3年生の皆さんの卒業式までちょうど2週間、湯梨浜中学校の初代卒業生として充実した日々を送り、最高の卒業式を迎えてほしいと思います。



★《連絡》『新型コロナウイルスの対応』について、先日の鳥取県中学校長会の理事会や中部学校保健会の理事会でも意見交換がされました。今後の部活動等の県外大会や発表会・コンサート等では特に十分な配慮が必要ですが、中部学校保健会の医師会の理事さん方からは「過敏にならず、とにかく手洗い・マスクの着用などを徹底すること」という話がありました。本校の4月22日～24日の3年生の修学旅行については、国や県の方針も含めて、県教委からの指示を早急に出していただくように依頼しているところです。他県のことと思わず、『手洗いや咳・エチケットなどの基本的な感染症対策を十分に徹底させてください。何か気になることがありましたら、早期に学校へもお知らせください。』